

# 調査インセンティブとしての謝礼と寄付の比較

ー全国世論調査「日本の世論 2015」のデータからー

Comparative Analysis of Monetary Rewards and Charity as Survey Incentives:  
A Preliminary Report on Public Opinion Research Titled “Nihon no Yoron 2015”

大隈 慎吾  
Shingo Ohkuma

1. はじめに
2. 回答者属性の比較
3. 時事問題に関する意識の比較
4. 終わりに

## 〈調査概要〉

調査目的	暮らしや外交・安全保障、エネルギー問題などについて国の政策課題を聞くため
調査対象	全国
標本サイズ	240 地点から各 10 で計 2400
抽出方法	層別 2 段無作為抽出 全国の投票区を都市規模で層化し 240 地点を抽出。抽出した地点の選挙人名簿から系統抽出で 10 人の対象者を選んだ。
調査時期	調査票発送は平成 27 年 10 月 21 日(水)、集計締切は 12 月 7 日(月)到着
調査方法	郵送法（郵便物は、依頼はがき→調査票→督促はがき→調査票→謝礼の金券もしくは寄付報告書の 5 回発送）調査票と一緒にボールペンを対象者全員に先渡し、後渡しとして謝礼（500 円分の図書カード）を受け取るか同額分の寄付をするかを回答者が選択
調査主体	毎日新聞社、埼玉大学社会調査研究センター
回収数・率	全体平均 1468(61.2%)：北海道・東北 181(64.6%)、北関東 152(58.5%)、南関東 177(57.1%)、東京 148(59.2%)、北陸信越・東海 282(67.1%)、近畿 241(60.3%)、中国・四国 135(64.3%)、九州 152(56.3%)

## 1. はじめに

毎日新聞社と埼玉大学社会調査研究センターは、時事問題に関する全国世論調査「日本の世論」を2013年から毎年実施している。2014年までは回答者に謝礼を贈る代わりに謝礼相当額を病気や災害の遺児などへ寄付する仕組みを採用していたが、今回（2015年）調査では、寄付をするか同額の謝礼を受け取るかを回答者が自由に選択できるようにした。

本稿では、その結果として、寄付を選んだ回答者のグループと謝礼を選んだグループ、および両者を含む回答者全体で属性や時事問題に関する意識に関して回答傾向に違いが現れたかを素描する。また、前回調査と各グループの違いも概覧する。

## 2. 回答者属性の比較

世論調査「日本の世論 2015」は郵送調査であり、全国の有権者から層別2段無作為抽出法(地点数240、標本数2400)で選ばれた人を対象に2015年10～12月に実施された。その結果1468人から有効回答が得られた(有効回答率61%)。そのうち、967人が500円分の寄付を選び、289人が500円の謝礼受け取りを選んだ。本稿では以降、寄付を選んだグループを

図表1 全体群との差の比較

全体群との差	寄付群	謝礼群
10ポイント以上の項目数	0	13
5ポイント以上の項目数	0	27
4ポイント以上の項目数	1	33
3ポイント以上の項目数	8	40
2ポイント以上の項目数	19	48
1ポイント以上の項目数	47	63
全項目数	85	85

「寄付群」、謝礼を選んだグループを「謝礼群」、回答者全体を「全体群」と呼称する。

図表2 全体群との差が大きかった属性項目の回答比率

設問	選択肢	全体群	寄付群	謝礼群	設問	選択肢	全体群	寄付群	謝礼群	
年代	20代	10%	7%	18%	自宅にある機器	固定電話	81%	85%	73%	
	30代	13%	11%	21%		携帯電話	64%	67%	57%	
	40代	19%	18%	23%		スマートフォン	61%	60%	73%	
	50代	16%	16%	16%		タブレット端末	26%	27%	26%	
	60代	20%	23%	10%		パソコン	66%	69%	69%	
	70代以上	23%	24%	11%		無回答	4%	3%	3%	
	職業(職種)	お勤め	47%	46%		59%	インターネットを使用する際に何をするか	情報の検索や収集	67%	68%
自営業主、自由業者		8%	8%	6%	映像や音楽を視聴する	34%		33%	45%	
家族従業		2%	2%	-	人とのコミュニケーション	50%		49%	63%	
農業・林業・漁業		2%	2%	2%	買い物	33%		32%	46%	
専業主婦(夫)		16%	18%	15%	ゲーム	22%		20%	34%	
学生		2%	2%	4%	インターネットは使用しない	17%		18%	10%	
その他		3%	2%	-	無回答	10%		9%	6%	
仕事をしていない		19%	19%	12%	コミュニケーションには何を利用するか	メール		43%	43%	54%
無回答		1%	1%	1%		フェイスブック		13%	12%	17%
職業(雇用形態)	経営者、役員、管理職	20%	21%	16%		ツイッター	7%	7%	10%	
	正社員、正職員	46%	44%	53%		ライン(LINE)	34%	33%	46%	
	パート、アルバイト	28%	29%	27%		インスタグラム	4%	4%	6%	
	契約社員、臨時職員、嘱託職員	2%	2%	2%		ミクシィ	2%	1%	3%	
	派遣社員	2%	2%	2%		その他	2%	2%	2%	
	その他	3%	3%	2%	無回答	50%	51%	37%		
	無回答	0%	0%	-	地域(8ブロック)	北海道・東北	12%	13%	9%	
	子どもの有無	いる	71%	74%		63%	北関東	10%	10%	11%
いない		28%	25%	36%		南関東	12%	12%	13%	
無回答		1%	1%	1%		東京	10%	9%	14%	
住居形態	賃貸	22%	19%	29%		北陸信越・東海	19%	19%	19%	
	持ち家	75%	79%	65%		近畿	16%	16%	17%	
	それ以外	3%	2%	5%		中国・四国	9%	9%	9%	
	無回答	1%	1%	1%		九州	10%	11%	7%	

※“0%”は0.5%未満の非負の比率、“-”は回答なしを表す。

属性に関する 17 問 85 項目に関して寄付/謝礼群と全体群を比較した結果を図表 1 に示す。寄付群は全体の 66%を占めるので全体群との差が小さいのはある程度予想できたが、謝礼群との差は予想よりもかなり大きかった。差が大きかった項目を図表 2 にまとめて示す。他にも性別や世帯年収（前年）、何世代で同居しているか、都市規模といった属性項目があったが差は大きくなかった。

寄付しか選択肢がなかった前回調査（2014 年）時の属性から今回と共通する 13 問 62 項目を選び、今回の各群と比較した結果を図表 3 に示す。ここでも、前回の結果と一番乖離しているのは謝礼群だった。

図表 3 前回群(全体)と今回の各群との差の比較

前回群との差	全体群	寄付群	謝礼群
10ポイント以上の項目数	0	0	8
5ポイント以上の項目数	4	5	24
4ポイント以上の項目数	6	7	26
3ポイント以上の項目数	9	15	32
2ポイント以上の項目数	22	28	45
1ポイント以上の項目数	49	47	56
全項目数	62	62	62

### 3. 時事問題に関する意識の比較

回答者の時事問題に関する意識についても、前節の属性と同様の比較を行った。その結果を図表 4～6 にまとめて示す。

図表 4 全体群との差の比較

全体群との差	寄付群	謝礼群
10ポイント以上の項目数	0	5
5ポイント以上の項目数	0	33
4ポイント以上の項目数	6	50
3ポイント以上の項目数	26	89
2ポイント以上の項目数	86	147
1ポイント以上の項目数	182	244
全項目数	316	316

図表 5 前回群(全体)と今回の各群との差の比較

前回群との差	全体群	寄付群	謝礼群
10ポイント以上の項目数	1	4	4
5ポイント以上の項目数	11	14	28
4ポイント以上の項目数	18	26	36
3ポイント以上の項目数	33	41	46
2ポイント以上の項目数	51	51	66
1ポイント以上の項目数	80	89	95
全項目数	118	118	118

図表 6 全体群との差が大きかった属性項目の回答比率

設問	選択肢	全体群	寄付群	謝礼群	設問	選択肢	全体群	寄付群	謝礼群
問1 安倍内閣を支持するか	支持する	40%	41%	38%	問10 あなたの「幸せ」にとって最も重要なのは	健康であること	51%	54%	41%
	支持しない	39%	41%	39%		暮らしていけるお金があること	18%	17%	23%
	関心がない	19%	16%	22%		家族や友人がいること	19%	19%	24%
	無回答	2%	2%	1%		社会的地位や評価があること	1%	0%	1%
問2 支持政党	自民党	35%	38%	30%	問11 渋谷区等の同性カップル公認制を	生きがいや夢になれるものがあること	8%	8%	8%
	民主党	8%	8%	5%		無回答	3%	2%	3%
	公明党	4%	3%	4%		評価する	42%	42%	49%
	維新の党	1%	1%	0%		評価しない	26%	27%	21%
	共産党	3%	4%	2%	わからない	29%	29%	28%	
	おおさか維新の会	4%	4%	4%	無回答	3%	2%	2%	
	社民党	1%	1%	0%	問12 あなたが不安に思っていることには何か(複数回答)	就職	25%	26%	27%
	生活の党	1%	1%	1%		失業	21%	19%	26%
	次世代の党	0%	0%	0%		所得	36%	36%	42%
	日本を元気にする会	0%	0%	0%		年金	81%	82%	87%
	新党改革	-	-	-		医療	50%	50%	53%
	その他	1%	1%	2%		教育	26%	28%	28%
支持する政党はない	41%	38%	49%	治安		31%	32%	32%	
無回答	2%	1%	1%	1人暮らし		22%	22%	20%	
問3 生活満足度	大いに満足している	4%	5%	4%	インターネット社会	26%	28%	24%	
	ある程度満足している	58%	61%	54%	原発・エネルギー	39%	42%	36%	
	あまり満足していない	29%	28%	33%	地球温暖化・異常気象	44%	47%	40%	
	全く満足していない	8%	6%	9%	巨大地震	46%	46%	50%	
無回答	0%	0%	-	自然災害	47%	48%	46%		
問8 公共の場での子どもの声は	騒音だと感じる	7%	5%	12%	外交	26%	28%	26%	
	騒音だとは思わない	71%	75%	61%	憲法改正	33%	36%	30%	
	どちらともいえない	20%	18%	25%	その他	3%	3%	4%	
	無回答	2%	1%	2%	無回答	3%	1%	3%	

設問	選択肢	全体群	寄付群	謝礼群	設問	選択肢	全体群	寄付群	謝礼群
問15 あなたが最も暮らしたいと思う住まい方は	1人世帯	5%	4%	6%	問27a 韓国に対し	1親しみを感じない	34%	34%	40%
	1世代世帯(夫婦だけ)	22%	23%	25%		2	29%	31%	25%
	2世代世帯(親と子)	36%	34%	43%		3どちらともいえない	23%	24%	22%
	3世代世帯(親と子と孫)	32%	34%	21%		4	7%	7%	7%
	その他	3%	3%	3%		5親しみを感じる	2%	2%	3%
	無回答	2%	2%	1%	無回答	5%	3%	3%	
問19a 日本の原発は	増やすべきだ	3%	2%	3%	問27b 10年後の日米関係は	1悪くなっている	2%	1%	3%
	今のまま維持すべきだ	30%	27%	35%		2	7%	8%	7%
	減らすべきだ	39%	41%	37%		3変わらない	46%	45%	51%
	なくすべきだ	25%	27%	22%		4	26%	28%	20%
	無回答	3%	2%	2%		5良くなっている	14%	14%	16%
				無回答	5%	4%	3%		
問22 将来、地位や富を得るチャンスは	平等にある	26%	26%	21%	問27b 10年後の日中関係は	1悪くなっている	26%	24%	36%
	平等にはない	72%	72%	77%		2	32%	34%	28%
	無回答	2%	1%	2%		3変わらない	29%	30%	27%
問23 あなたは今の天皇に	親しみを感じる	65%	69%	58%	4	6%	6%	4%	
	親しみを感じない	8%	7%	12%	5良くなっている	1%	1%	1%	
	どちらともいえない	26%	23%	29%	無回答	6%	4%	3%	
	無回答	2%	2%	1%	問27b 10年後の日韓関係は	1悪くなっている	20%	19%	30%
問27a 中国に対し	1親しみを感じない	48%	47%	57%		2	30%	32%	28%
	2	27%	30%	21%		3変わらない	34%	35%	28%
	3どちらともいえない	16%	17%	15%		4	9%	9%	9%
	4	3%	3%	2%		5良くなっている	1%	1%	2%
	5親しみを感じる	1%	1%	1%	無回答	6%	4%	3%	
	無回答	5%	3%	3%	問29 どちらの投票をより重視するか	候補者名を書く「小選挙区」	61%	65%	56%
				政党名を書く「比例代表」		15%	15%	17%	
				どちらともいえない		22%	18%	25%	
				無回答		2%	2%	2%	

比較した結果、意識についても属性と同様に謝礼群が最も特異な傾向を示した。前回結果と最も乖離しているのも謝礼群だった。

#### 4. 終わりに

本稿で行った比較分析の結果を要約すると以下のようなになるだろう。

- 回答者が寄付と謝礼のいずれかを選択する本調査では、少数派であり特異な傾向をもつのは謝礼を選択した回答者グループの方だった。
- 謝礼を選択したグループには、20～30代の正社員、賃貸住宅に住みネットリテラシーが高く、東京の居住者が多い。政治的には無関心・無党派層で、生活満足度が低く暮らし向きや将来に不安を抱えている、といった方向への偏りがみられる。